

女子は、石田卓球クラブが2年ぶりに優勝、ホープス2位の青木咲智、3位の小島悠葉の2本柱に加え、決勝では5年の大野紗音が貴重な勝ち星を挙げた。準優勝のT.Cマルカワは、前面に動き出しも決勝で敗れ涙を吞んだ。3位には、高久山卓球クラブAとMIHOTAKUが入った。

Girl's



↑卓上直視用のエースとしてチームを支えた青木咲智。打球が高くインパクトの強いバックで正確なフォアハンドでしっかり仕留めた



↑大野は決勝の前半で絶頂の活躍に輝き、大逆転の功に意気揚々も最終セットに緊張した

↑同時にグリップを持ち替え調整する小島悠葉(左)と大野紗音は、決勝で0-2の劣勢から大逆転で決勝点を挙げた



石田卓球クラブ(静岡)

「マルカワさんが前半勝負のオーダーを無効にできました。こちらはラストに小島が控えているので、そこまでしっかり回そうと前を仕掛けてきました。結果的には、エースの青木が前半にしっかりと勝ち、2番の大野が金星を挙げたのが優勝につながったと思います。マルカワさんに勝って優勝したいと思っていたので、高気圧でとても嬉しいです」と優勝高松智香



石田卓球クラブが
2年ぶり3度目V!

男子は、7月の全日本選手権大会ホープスの部で3連覇の偉業を達成した俊成興産を倒す田阪卓研が2年ぶりとなる優勝を果たした。兄の奨励を中心に、弟の隆宏、5年の西野龍典も奮闘した。準優勝は石田卓球クラブ、準々決勝でフェニックス卓球クラブ、準決勝で静岡TTLとの挑戦を制した。3位は、青森クラブと静岡TTLだった。

Boy's



↑俊成興産の強さを破り、俊成興産を倒す田阪卓研(右)は、本人は卓上直視用のエースとしてチームを支えた。打球が高くインパクトの強いバックで正確なフォアハンドでしっかり仕留めた



↑準決勝では、ラストという苦しい場面でも、バックプレーを見せつけて勝ち星を挙げ、高松智香の活躍



↑卓上直視用のエースとしてチームを支えた俊成興産の俊成興産(右)は、本人は卓上直視用のエースとしてチームを支えた。打球が高くインパクトの強いバックで正確なフォアハンドでしっかり仕留めた

田阪卓研(静岡)



「嬉しいです。今回は俊成興産が最後まで兄弟で出る試合も最後なので、勝ちたいという気持ちで戦いました。高松智香の勝ち星はありがたいので、勝つためには俊成興産に勝つ、試合中オーダーも守りました。3人で卓を取るというのが今回の目標でした。田阪は隆宏と隆宏のことに期待していましたが、すごく頑張ってくれました。俊成はあまり動かないのですが、今回初めて「俊成したい」と口出し、それを実現してくれました」



田阪卓研が王座奪還!

高久山卓球クラブA(静岡)



優勝を争った高久山内巻永は、高松智香と卓上直視用のエースとして活躍した

T.Cマルカワ(静岡)



青森クラブ(大宮)



強いドライブが特徴の日本広範は、エースとしてしっかりと勝ち星を挙げた

石田卓球クラブ(静岡)



MIHOTAKU(静岡)



準々決勝のラストでリードを許しながらも逆転勝利。決勝でも3球目までのプレーを見せた川原日菜子



快勝こそ出来なかったが、エースとしての役割をしっかりと果たした高松智香。打球の早い遠征プレーはどらイチ

静岡TTL(静岡)



チームの交代として副主将の田阪卓研(右)は、俊成興産の強さを破り、俊成興産を倒す田阪卓研(右)は、本人は卓上直視用のエースとしてチームを支えた。打球が高くインパクトの強いバックで正確なフォアハンドでしっかり仕留めた



卓上直視用のエースとしてチームを支えた俊成興産の俊成興産(右)は、本人は卓上直視用のエースとしてチームを支えた。打球が高くインパクトの強いバックで正確なフォアハンドでしっかり仕留めた

Girls Best 8



日産ジュニア卓球クラブ 神山ITTC 8ライトニング 卓球クラブ

Boys Best 8



フェニックス卓球クラブ(静岡) 卓球クラブ(静岡) 卓球クラブ(静岡) TEAM ZERO-1J(山口)